

1. 趣旨

- ・ 囲碁を愉しみ、同好者間の親睦を深める。

2. 活動内容

- ・ 平成 15 年 11 月第 1 回開催。
- ・ 原則として月末近辺の日の 13 時～17 時に例会を行う。春秋には会内大会を開催し、また他大学 OB 会囲碁同好会との懇親対戦会を行う。会内大会及び懇親対戦会の後は懇親会を行う。
- ・ 例会は大船学習センター集会室、大会、懇親対戦会は大船の文化交流サロン“光”を利用。
- ・ 会員を特定せず、1 度でも来会あるいは連絡先を登録した方を行事連絡対象者としている。
- ・ 毎回の行事を上記行事連絡対象者(25 年 4 月現在 57 名)に案内し、その都度希望者が参加。
- ・ 参加費 例会 500 円 春秋の会内大会及び他大学との懇親対戦会 実費。

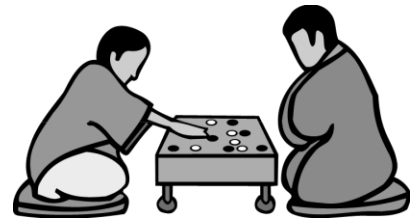
3. 活動実績

月日	会	参加 (人)	月日	会	参加 (人)	月日	会	参加 (人)
平成 15 年 (2003 年)								
11 月 5 日	例会	8	12 月 12 日	例会	8			
平成 16 年 (2004 年)								
1 月 13 日	例会	8	2 月 13 日	例会	11	3 月 19 日	例会	6
4 月 7 日	例会	10	5 月 20 日	例会	5	6 月 19 日	春季大会 優勝 儀間信英氏	12
7 月 19 日	例会	10	8 月 29 日	例会	8	9 月 19 日	例会	13
10 月 22 日	例会	9	11 月 23 日	例会	6	12 月 18 日	春季大会 優勝 乙幡徹也氏	12
平成 17 年 (2005 年)								
1 月 22 日	例会	10	2 月 11 日	例会	9	3 月 21 日	例会	5
4 月 16 日	例会	8	5 月 22 日	例会	7	6 月 18 日	春季大会 優勝 林 徹氏	8
7 月 24 日	例会	9	8 月 13 日	稲門会	9	8 月 28 日	例会	9
9 月 23 日	例会	9	10 月 21 日	例会	7	11 月 11 日	例会	7
12 月 10 日	秋季大会 優勝 儀間信英氏	11						
平成 18 年 (2006 年)								
1 月 22 日	例会	13	2 月 18 日	例会	11	3 月 21 日	例会	13
4 月 8 日	稲門会	12	4 月 16 日	例会	7	5 月 28 日	例会	12
6 月 17 日	春季大会 優勝 山口洋一氏	8	7 月 15 日	例会	11	8 月 27 日	例会	13
10 月 1 日	例会	14	10 月 22 日	例会	10	11 月 18 日	例会	9

12月16日	秋季大会 優勝 山口洋一氏	15						
平成19年(2007年)								
1月11日	例会	15	2月25日	例会	13	3月25日	例会	15
4月22日	例会	11	5月31日	例会	13	6月16日	稲門会	14
6月24日	春季大会 優勝 傳 裕雄氏	9	7月28日	例会	9	8月19日	例会	10
9月16日	例会	15	10月20日	如水会	15	11月24日	三田会	13
12月22日	例会	10						
平成20年(2008年)								
1月26日	如水会	16	2月24日	例会	11	3月30日	例会	13
4月27日	例会	13	5月30日	例会	9	6月22日	春季大会 優勝 乙幡徹也氏	17
7月26日	如水会	15	8月16日	例会	15	9月14日	例会	12
10月17日	三田会	9	11月30日	例会	14	12月14日	例会 馬先生指導	16
平成21年(2009年)								
1月25日	例会	13	2月15日	例会	16	3月15日	例会	7
4月12日	例会 馬先生指導	9	5月24日	例会	13	6月20日	春季大会 優勝 進 哲美氏	13
7月25日	三田会	17	8月15日	例会	9	9月22日	例会	14
10月27日	三田会	14	11月21日	例会	7	12月12日	例会	17
平成22年(2010年)								
1月10日	如水会	15	2月28日	例会	7	3月30日	例会	8
4月29日	例会	10	5月15日	例会	11	6月13日	春季大会 優勝 高橋秀元/蜂巢 毅氏	15
7月9日	例会	12	8月26日	例会	15	9月28日	例会	12
10月24日	稲門会	15	11月23日	三田会	15	12月12日	例会	9
平成23年(2011年)								
1月24日	例会	17	2月13日	例会	14	3月15日	例会	11
4月30日	春季大会 優勝 小田川圭甫/田淵謹也氏	22	5月26日	例会	11	6月23日	例会	12
7月29日	例会	18	8月30日	例会	16	9月27日	三田会	16
10月29日	例会	16	11月26日	秋季大会 優勝 小林良彰氏	17	12月22日	例会	13
平成24年(2012年)								
1月26日	例会	17	2月28日	例会	14	3月15日	例会	11
4月27日	例会	11	5月26日	春季大会 優勝 小田川圭甫氏	20	6月22日	例会	12
7月21日	三田会	23	8月24日	例会	16	9月16日	例会	12
10月26日	例会	15	11月30日	例会	15	12月27日	秋季大会 優勝 中沢新吾氏	25

平成 25 年 (2013 年)								
1 月 25 日	例会	18	2 月 10 日	例会	12	3 月 22 日	例会	17
4 月 25 日	例会	17						

- 三田会 慶応大学/鎌倉 OB 会 囲碁会
- 稲門会 早稲田大学/鎌倉 OB 会 囲碁会
- 如水会 一橋大学/鎌倉 OB 会 囲碁会
- 馬先生指導碁 馬 亜蘭(中国棋院四段)、東京銀杏会
 神奈川銀杏会では、毎回指導されている。



三田会との懇親対戦会 (平成 23 年 9 月 27 日)



同 左



例会 (平成 25 年 3 月 22 日)



同 左

***** ひとつこと *****

❖ 小林良彰さん — 例会の後の飲み会では、硬軟とり混ぜうんちくのある話を披露して下さいます。
 この約 10 年、二つの方向に思いがけない発展がありました。一つは人間関係で本来なら会う事の無かった素晴らしい人に出会い、このための外出も増え、教える立場にもなりました。
 もう一つは碁の勉強兼研究を始める事になり、玄々碁経、官子譜などの古典を読みはじめました。東大同窓会がここまでのきっかけを与えてくれるとは思ってもよらない事でした。

❖ 小田川圭甫さん —— 活動範囲が極めて広く、淡碁会に出席する暇があるのが不思議です。

10年の歴史ある淡碁会に入会して3年になりますが、毎月の定例会では、皆さん意気軒昂で、年齢を全く感じさせない自由奔放な若々しい手合いを楽しんでいます。今の日中関係を彷彿させるような激しい応酬の碁、北朝鮮のような破れかぶれで自滅的な碁、読みの深さを競い合う頭脳戦、横綱同士の正面からの力勝負、千変万化で独創(毒挿)的なねじり合いが展開されます。

手談・烏鷺・爛柯とも称される囲碁は、無限の領域を有限としていく「人生の縮図」とも言い得る遭遇と帰結があって、「世は一局の碁なり」との土井晩翠の言にも感得しますが、ボケ防止の効用も大きいそうです。会員にその兆候が全く見られないのも一つの証左です。「着眼大局・着手小局」は、Think globally, act locally にも通じます。

「碁仇は憎さも憎し 懐かしき」・・・人生の残りの余白を豊かに埋めるよすがの一つとして、人智を超えた無限の深さのあるこのゲームを満喫してゆきたいと考えています。

❖ 蜂巢 毅さん —— 午前中渋谷で仕事をし、スーツ姿のまま例会に駆けつけて下さったりします。

下手の横好きであっちこちの囲碁を楽しむ会へ参加していますが、この「淡碁会」が一番レベルが高く品格の高い会員がそろっていますので、私はこの会が大好きです。囲碁ほど楽しいゲームはなく、対局中は全てを忘れ集中出来る事も囲碁の魅力の一つです。「囲碁の楽しさを知らずして、この世を去って逝く人は可哀そう」と皆さんへよく話しています。毎回、田淵会員からごちそうになる手作りのおいしいケーキも楽しみの一つです。今後とも棋力向上に努力しながら囲碁を楽しんでいこうと考えています。

❖ 杉本正信 (幹事)

淡碁会に入ったおかげで、多くの異分野の方と知り合いになり、また、淡青会の三金会などにも時々出席するようになりました。家で集めたお金の勘定をしていると、愚妻が「会計は、あなたの最も苦手な分野なのに」などと、同情とも、からかいともわからないようなことを言いますが、時々気の毒に思っただけ、助けてくれます。勘定というと、地合計算も最も不得意とするところで、たいてい実際より自分の地所を10目ほど多く数えてしまいます。これも碁が上達しない一因と考え、これからは、会計幹事を立派にこなし、また碁の上達のために、「勘定」の能力を磨く努力をしたいと思っております。

❖ 進 哲美 (幹事)

確かに「淡碁会」のレベルは高く、他大学の追随を許していません。品格も高く、対戦でもめる事はありません。ただ会員同士、「憎くて懐かしい」碁仇になって、昔なら古典落語の「笠碁」を演じていると思われませんが、今は住環境から許されず、毎日インターネットで対局している方もおられます。「もう何千局打ちましたか」と尋ねたら、「もう万局だよ。」との事です。

また、碁は孤独なゲームです。他言厳禁、お互い同士は手談でしか会話しません。だから例会の後、イッパイやりながらだべるのが楽しく、そのために参加される方もおられるようです。

❖ 山名俊茂 (幹事)

言葉が通じず、信条が異なり、多少容貌雰囲気異なるだけで人類は長年いかに不幸な相克を続けてきたことだろうか？

言葉が一切解せずとも、相手の様子が皆目判らなくとも初対面で即『手話』のみで携えてきた斧の柄が腐るまで仲良く愉しめるのが私達の囲碁会である。

東洋の精神と知恵が生みだし、はぐくんできた人類の親善技を、欧州のオリンピック以上にこの“アジアの時代に世界に広げる”ことを夢見ています。
